

平成24年度主要な政策に係る評価書

(総務省23-⑨)

政策名(※1)	政策19: 公的統計の体系的な整備・提供			分野	国民生活と安心・安全	
政策の概要	<p>・平成21年4月に全面施行された統計法(平成19年法律第53号)の適切な運用及び平成21年3月に閣議決定された「公的統計の整備に関する基本的な計画」(以下「基本計画」という。)に掲げられた施策を着実に推進・実現することで、公的統計を体系的かつ効率的に整備し、統計調査の量的・質的内容の向上を図る。</p> <p>・統計制度の企画・立案、基準の設定及び調整並びに社会経済情勢を把握するための基本的かつ重要な統計の作成を行う。</p> <p>・統計ユーザーの利便向上に対応する統計情報の的確な提供を実施する。</p>					
基本目標 【達成すべき目標】	国民・企業等の様々な意思決定のための「社会の情報基盤」として、必要不可欠な公的統計を体系的かつ効率的に整備した上で、統計需要や調査環境の変化に対応した統計調査を着実に実施し、統計情報を的確に提供することで、国民経済の健全な発展及び国民生活の向上に寄与する。					
政策の予算額・執行額等	区 分		21年度	22年度	23年度	24年度
	予算の 状況(千円)	当初予算(a)	27,434,348	82,844,750	26,941,049	23,840,137
		補正予算(b)	-581,982	0	-54,309	0
		繰越し等(c)	0	-4,033		
		合計(a+b+c)	26,852,366	82,840,717		
執行額(千円)		26,205,118	81,440,440			
政策に関する内閣の重要 政策(施政方針演説等のうち 主なもの)	施政方針演説等の名称		年月日	関係部分(抜粋)		
	—		—	—		

施策目標	測定指標	基準(値)(※2) 【年度】	実績(値) 又は施策の進捗状況(実績) 【年度】	目標(値) 【年度】
統計を、国民全体が広く活用できるように体系的・効率的に整備し、より一層国民に有効に活用されるものにする	1 平成23年度中にオーダーメイド集計又は匿名データの提供を実施する統計調査	24調査 【22年度】	29調査 【23年度】	25調査以上 【23年度】
	2 平成23年度中にオーダーメイド集計又は匿名データの提供の申出を受けた件数	50件 【22年度】	43件 【23年度】	63件以上(22年度実績の2割増以上) 【23年度】
	3 事業所・企業を対象とする調査に関する重複是正措置の実施率	78.8% 【22年度】	92.2% 【23年度】	85%以上 【23年度】
	4 事業所・企業を対象とする調査に関する履歴登録措置の実施率	74.1% 【22年度】	84.9% 【23年度】	85%以上 【23年度】
社会経済情勢を把握するための基本的かつ重要な統計を確実に作成し、国民に提供する	5 経済・社会の環境変化に対応した統計調査を確実に実施し、平成23年度中に公表が予定されている統計データを遅滞なく公表しているか	100% 【22年度】	100% 【23年度】	100% 【23年度】
	6 東日本大震災の被災自治体(岩手県・宮城県・福島県)における国勢調査結果(人口等基本集計)の早期集計・公表	—	平成23年7月27日公表 【23年度】	7月末 【23年度】
統計情報を的確に提供することにより統計利用者の利便性の向上を図る	7 統計局所管統計調査について主要5紙(朝日、読売、毎日、日経、産経)に掲載された記事数	400件程度 【22年度】	512件 【23年度】	年間400件以上 【23年度】
	8 統計局所管統計調査結果について各府省の年次報告書(白書)に掲載された件数	300件程度 【22年度】	369件 【23年度】	年間300件以上 【23年度】
	9 「政府統計の総合窓口(e-Stat)」の統計表等へのアクセス件数	7,800万件 【22年度】	5,122万件 【23年度】	年間7,800万件以上 【23年度】
	10 統計局・政策統括官(統計基準担当)・統計研修所ホームページの総アクセス件数	7,100万件 【22年度】	7,499万件 【23年度】	年間7,500万件以上 【23年度】
	11 総合統計書が刊行冊数及び予定のとおり刊行がなされているか	年刊: 5冊 ・日本統計年鑑(11月) ・日本の統計(3月) ・世界の統計(3月) ・Statistical Handbook of Japan(8月) ・PSI(ポケット統計情報)年報(10月) 月刊: 1冊 ・PSI(ポケット統計情報)月報(毎月下旬)	年刊: 5冊 ・日本統計年鑑(11月) ・日本の統計(3月) ・世界の統計(3月) ・Statistical Handbook of Japan(8月) ・PSI(ポケット統計情報)年報(10月) 月刊: 1冊 ・PSI(ポケット統計情報)月報(毎月下旬)	年刊5冊 月刊1冊 【23年度】

政策に関する評価結果	目標の達成状況	<p>・統計の体系的・効率的整備については、オーダーメイド集計又は匿名データの提供の申出を受けた件数について目標値を下回ったが、これは、現在提供を行っているデータが、匿名化等により一部の利用者のニーズと一致しないものとなっているおそれがあること、制度の周知が十分でないことが主な原因と考えられる。しかし、オーダーメイド集計又は匿名データの提供を実施する統計調査の拡大が順次図られており、事業所・企業を対象とする調査に関する重複是正措置・履歴登録措置の実施率についても目標値を上回ったことから、全体としては、目標を一定程度達成することができたものと考えられる。</p> <p>・統計の確実な作成については、所管統計調査を遅滞なく予定どおりの時期に公表することができたこと、東日本大震災の被災自治体における国勢調査結果を早期に公表することができたことにより、目標を達成することができた。</p> <p>・統計情報の的確な提供については、「政府統計の総合窓口(e-Stat)」の統計表等へのアクセス件数について、クローラからのアクセス(検索エンジン運営会社による検索用インデックス作成のためのデータ収集を目的とした機械による自動アクセス)が減少したことなどにより目標値を下回ったが、本来の統計情報利用者からのアクセスは前年度よりも増加していると考えられ、政府統計の一元的な情報提供について着実に成果を上げることができた。また、統計局所管統計調査についての主要5紙及び年次報告書(白書)の掲載件数、統計局・政策統括官(統計基準担当)・統計研修所ホームページの総アクセス件数、総合報告書の刊行についてはほぼ目標値を上回ることができ、目標をおおむね達成することができた。</p>
	目標期間終了時点の総括	<p>統計の体系的・効率的整備については、一定程度目標を達成することができたことから、国民経済の健全な発展及び国民生活の向上に寄与するための取組が着実に実施されたことが認められる。</p> <p>今後、オーダーメイド集計又は匿名データの提供に係る課題に対し、更なる利用者ニーズの把握、利用者に対する一層の周知活動に取り組むとともに、引き続き重複是正措置・履歴登録措置等を実施し、公的統計の体系的かつ効率的な整備に取り組む必要がある。</p> <p>統計の確実な作成及び統計情報の的確な提供については、所管統計調査を遅滞なく予定通りの時期に公表することができたこと、統計局所管統計調査についての主要5紙及び年次報告書(白書)の掲載件数、「統計局・政策統括官(統計基準担当)・統計研修所ホームページの総アクセス件数などが目標値を上回ったことなどにより、目標を達成するなど、統計需要や調査環境の変化に対応した統計調査を着実に実施し、統計情報を的確に提供することで、国民経済の健全な発展及び国民生活の向上に寄与するための着実な取組がなされていると認められる。また、東日本大震災の被災自治体においては、震災直前に実施された平成22年度国勢調査は貴重なデータであり、この結果を早期に公表したことで被災地のニーズに対応できたと考えられる。</p> <p>今後、引き続き、所管統計調査を着実に実施し、統計情報を的確に提供するための方策に取り組む必要がある。</p>

学識経験を有する者の知見の活用	平成24年8月、明治大学経営学部菊地端夫准教授から御意見を伺い、評価書に反映した。
-----------------	---

政策評価を行う過程において使用した資料その他の情報	平成23年度統計法施行状況報告書(http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01toukatsu01_02000014.html)
---------------------------	---

担当部局課室名	統計局総務課 政策統括官(統計基準担当)付統計企画管理官室	作成責任者名	統計局総務課長 會田 雅人 政策統括官(統計基準担当)付統計企画管理官 白岩 俊	政策評価実施時期	平成24年9月
---------	----------------------------------	--------	---	----------	---------

※1 政策とは、「目標管理型の政策評価の改善方策に係る取組について」(平成24年3月27日政策評価各府省連絡会議了承)に基づく別紙2の様式における施策に該当。

※2 基準(値)または実績(値)を記載。